

## 26 当施設で行っているメチレンブルー染色を応用した

### 尿中細菌の確認方法

○嘉瀬 文孝、原口 麻耶、渡辺 昌人、盛 隆富  
大森赤十字病院 検査部

#### 【初めに】

尿沈渣検査による尿中細菌の評価は尿路感染症と診断するうえで欠かせないものである。その検査の際、細胞の破片や顆粒が多い検体は細菌の判定に苦慮するケースがある。このような場合、細菌検査室にグラム染色を依頼したとしても、標本作製から判定までに時間がかかってしまうのが現状である。

そこで今回は当施設で考案した、メチレンブルー染色を応用した迅速細菌染色法（以下クイック単染色とする）について検討したので報告する。

#### 【検討内容】

今回検討した主な内容は①クイック単染色の染色性。②グラム染色とクイック単染色の標本作製時間の比較。③細菌の判定に苦慮した検体においてクイック単染色は有効か。④一般検査業務の傍らで染色することが可能かについてである。

#### 【結果と考察】

クイック単染色はグラム染色のようにグラム陽性や陰性までは判断できないものの、球菌や桿菌など細菌の形態的特徴に加え、貪食像についても良好な染色性を示した。またグラム染色の標本作製時間は約10～15分と時間を要するが、クイック単染色は手順の簡略化により標本作製時間は約5分と、一般検査業務の傍らで行うことは十分可能と考えられる。そのため、細菌の判

定に苦慮するような検体に対し、クイック単染色による確認を行うことは検査の精度を高める上で効果的であると考えられた。  
連絡先 03-3775-3111 内線 (2233)